

2019 年度

はつかいち ほほえみ(学校訪問)コンサート  
報告書

公益財団法人廿日市市芸術文化振興事業団

助成：日本財団

昨年、廿日市市制施行 30 周年を記念して、はつかいち平和の祭典実行委員会主催・廿日市市教育委員会生涯学習課主管による「はつかいち平和・ほほえみコンサート(小学校訪問コンサート)」を廿日市内の公立小学校全 17 校で実施いたしました。本年は継続事業として主管が(公財)廿日市市芸術文化振興事業団に代わり、「はつかいち ほほえみ(学校訪問)コンサート」として、2019 年 9 月 18 日から 11 月 15 日の 2 か月間にわたり、廿日市内の公立小学校 14 校で行いました。これも、出演していただいた演奏家の皆様、司会、舞台監督、そして本事業の企画・制作を引き受けてくださった松本 憲治氏のご尽力の賜物だと感謝しております。また、コンサートを行った各小学校の音楽の先生をはじめとする先生方の協力なくしては、行うことは出来ませんでした。そして、日本財団から助成金を頂いたことで、本事業が充実したものになりました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

ほほえみコンサートの目的は、①「世界の古典名曲」を鑑賞することによって、人としての視野を拡げ、他人を理解し、深く豊かな心を養う ②「日本の唱歌」を一緒に歌うことによって、地域の人や自然を愛する心を養うとともに、地域の伝統と誇りを育てる という 2 点にあります。また、「はつかいち平和コンサート」のテーマである「平和と共生」について考え、いろんな人たちを認め合って、ともに仲良く平和に生きる気持ちを養うことも、その目的に含まれています。

本年度は、コンサート内容をより習熟させるため、昨年と同様にピアノ、声楽、弦楽器の 3 名によるコンサートを行いました。唱歌の演奏では事前に歌詞を朗読することにより、歌詞の意味を児童のみなさんとともに考え、校歌の演奏では、各小学校の音楽の先生にお願いをして、ピアノなどで共演していただきました。

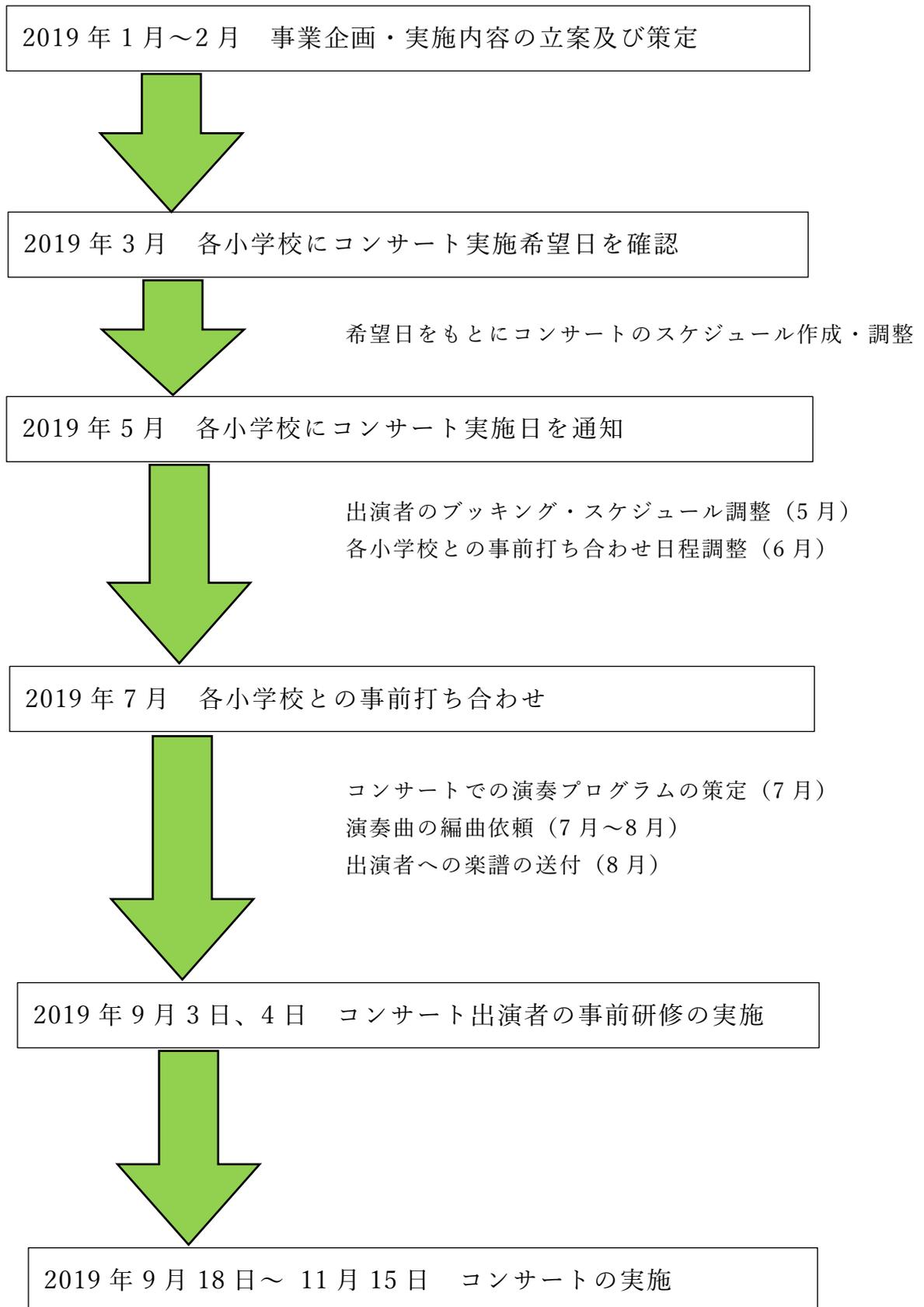
本事業では、単に演奏家が学校で演奏するだけではなく、事前の打ち合わせなど学校との密な連携により、コンサートを実施することができたのではないかと考えています。

次年度も「はつかいち ほほえみ(学校訪問)コンサート」を廿日市の特色ある事業として、実施する予定です。学校にとって、そして何よりも子どもたちにとって、より実りの多いコンサートづくりができればと考えております。

2019 (令和元) 年 12 月

公益財団法人廿日市市芸術文化振興事業団

1. 事業のながれ



## 2. コンサートについて

実施期間：2019年9月18日（水）～11月15日（金）

実施場所：廿日市市内の公立小学校14校

総鑑賞者数：約1,600名（教職員や保護者、地域の方々も含む）

### 出演

ソプラノ：枝松 瞳、工谷 明子、山口 水蛭

ピアノ：占部 久美子、恩田 絵美、渡部 優子

ヴァイオリン：今井 千晶、後藤 明子、曾我部 貴子、向田 さおり

チェロ：宮本 隆一

司会・進行：東園 恵、松本 憲治

### プログラム

- ① エルガー：愛の挨拶／クライスラー：ベートーヴェンの主題によるロンディーノ／サン＝サーンス：白鳥  
ヴァイオリン（またはチェロ）とピアノ
- ② シューベルト：楽興の時第3番  
ピアノ独奏
- ③ ドヴォルザーク(松本 憲治編曲)：わが母の教え給ひし歌
- ④ 武満 徹(松本 憲治編曲)：小さな空
- ⑤ 岡野 貞一(松本 憲治編曲)：紅葉  
ヴァイオリン（またはチェロ）、ソプラノ、ピアノ

～平和と共生に関するお話～

- ⑥ 岡野 貞一(松本 憲治編曲)：ふるさと
- ⑦ シャーマン兄弟(松本 憲治編曲)：小さな世界
- ⑧ 各小学校の校歌(松本 憲治編曲)  
ヴァイオリン（またはチェロ）、ソプラノ、ピアノ

※①は演奏するメンバー及び小学校によって、エルガー、クライスラー、サン＝サーンスの中から1曲選択

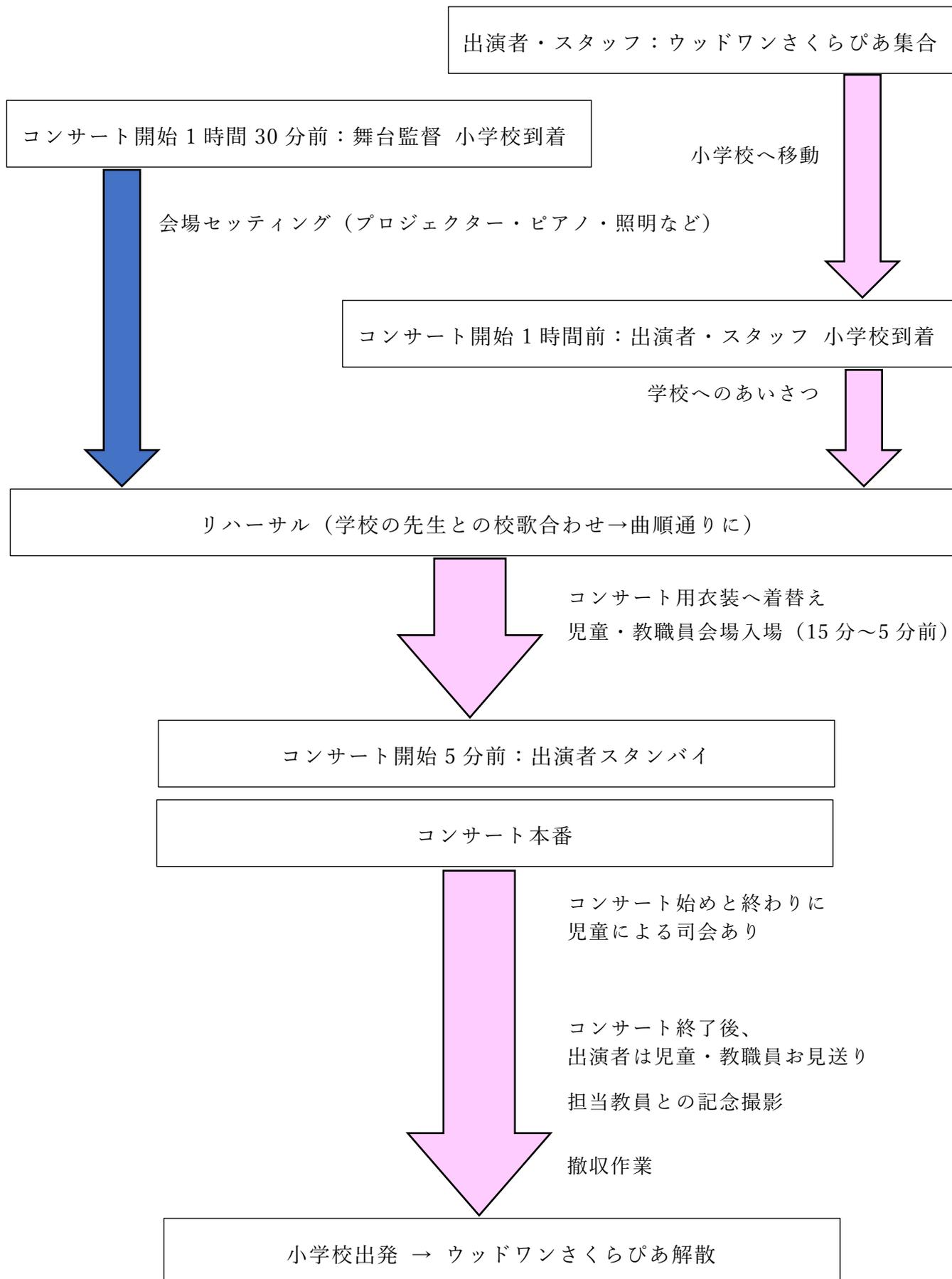
※③④⑤⑥は、事前に歌詞の朗読があった。

※⑤⑥⑧は、児童も一緒に歌った。

※⑦は振付があり、児童も一緒に歌ったり、踊ったりした。

※⑧については、まず出演者が1番のみ演奏し、その後児童と一緒に歌った。  
可能な学校では、小学校の先生がピアノ等の伴奏を務めた。

### 3. コンサート当日のながれ



#### 4. コンサート詳細スケジュール

開催日時	会場	児童人数	演奏者	① 曲目	先生による 校歌参加
9月18日(水) 13:40-14:25	佐方小学校 音楽室	88名(4年生)	工谷明子(S) 後藤明子(Vn) 渡部優子(Pf)	エルガー	○
9月25日(水) 9:40-10:25	宮内小学校 体育館	147名 (5, 6年生)	山口水蛸(S) 宮本隆一(Vc) 恩田絵美(Pf)	サン=サーンス	○
9月30日(月) 10:45-11:30	大野西小学校 アリーナ	123名(4年生)	山口水蛸(S) 今井千晶(Vn) 恩田絵美(Pf)	エルガー	○
10月2日(水) 14:00-14:45	宮島学園 体育館	108名 (小中学生全員)	工谷明子(S) 宮本隆一(Vc) 渡部優子(Pf)	サン=サーンス	○
10月8日(火) 10:45-11:30	四季が丘小学校 音楽室	41名(3年生)	枝松瞳(S) 後藤明子(Vn) 渡部優子(Pf)	エルガー	×
10月16日(水) 11:25-12:10	地御前小学校 音楽室	150名 (3, 4年生)	工谷明子(S) 曾我部貴子(Vn) 渡部優子(Pf)	クライスラー	×
10月25日(金) 10:40-11:25	金剛寺小学校 体育館	182名 (全校児童)	枝松瞳(S) 向田さおり(Vn) 占部久美子(Pf)	エルガー	○
10月29日(火) 13:55-14:40	原小学校 音楽室	60名 (全校児童)	工谷明子(S) 今井千晶(Vn) 渡部優子(Pf)	クライスラー	○
10月30日(水) 13:50-14:35	友和小学校 音楽室	34名(3年生)	枝松瞳(S) 曾我部貴子(S) 渡部優子(Pf)	クライスラー	×
11月1日(金) 14:00-14:45	津田小学校 体育館	124名 (全校児童)	山口水蛸(S) 後藤明子(Vn) 恩田絵美(Pf)	クライスラー	○
11月7日(木) 10:40-11:25	宮園小学校 体育館	196名 (全校児童)	枝松瞳(S) 向田さおり(Vn) 占部久美子(Pf)	クライスラー	○
11月13日(水) 10:30-11:15	平良小学校 多目的ホール	96名(4年生)	工谷明子(S) 曾我部貴子(Vc) 渡部優子(Pf)	クライスラー	○
11月14日(木) 10:35-11:25	吉和小学校 多目的ホール	31名 (全校児童)	山口水蛸(S) 宮本隆一(Vc) 占部久美子(Pf)	サン=サーンス	○
11月15日(金) 10:25-11:10	大野東小学校 音楽室	136名(4年生)	枝松瞳(S) 今井千晶(Vn) 恩田絵美(Pf)	エルガー	○

## 5. コンサートの様子



ほほえみコンサートの始まりと終わりは、児童代表に司会をしてもらいました。



体育館で行った、ほほえみコンサートの様子



「小さな世界」では、児童と一緒に振付をしながら歌いました。



校歌の演奏では、各学校の先生方にも参加していただき、一緒に演奏しました。

どの学校でも、間近で見るプロの演奏に目を輝かせながら聴き入っている子どもたちの姿や、自分たちの学校の校歌を元気いっぱい歌っている姿、そしてコンサートが終わった後、楽しそうに演奏者たちとハイタッチを交わしている姿がとても印象的でした。



「平和と共生」についてみんなで考えました。



コンサートの後は、ハイタッチで子どもたちをお見送りしました。

## 6. 演奏家事前研修について

2019年9月3日(火)と4日(水)の両日、はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあにてほほえみコンサート出演者の事前研修が行われました。奥典道廿日市市教育長の挨拶の後、本事業の企画・制作を担当している松本憲治氏からコンサートのコンセプト等について説明、出演者の合わせを行いました。



事前研修冒頭での奥典道廿日市市教育長の挨拶



ウッドワンさくらびあ大ホールで行われた出演者の合わせの様子

## 7. 児童たちの声

ほほえみコンサートを実施した各小学校の児童のみなさんから、コンサートの感想が届きました。



- ・みなさんが出てきたとき、ドレスがキラキラしていて、歌声も楽器の音もまほうがかかったみたいにきれいでした。(小6 女子)
- ・バイオリンが声より高い音が出ていて、こんなにたかくなるんだな、と思いました。(小4 女子)
- ・ソプラノの声が体育館全体にひろがっていて、びっくりしました。(小6 女子)
- ・「小さな空」という曲が一番心にのこりました。楽器と歌がいっしょになってきれいな音でした。(小4 女子)
- ・「もみじ」や「ふるさと」を一緒に歌うことができ、楽しかったし、うれしかったです。(小5 女子)
- ・「小さな世界」でふりつけやうたうのがたのしかったです。(小4 女子)
- ・ふだん、なにげなく歌っている校歌にチェロが入ると、ふだんとちがった校歌になって、なんだか新鮮でした。(小6 男子)
- ・校歌を歌ってくださったときのきれいな歌声がすごく心に残りました。校歌と一緒に歌えたときは、うれしかったです。(小6 女子)
- ・校歌のときに聞いた、教とう先生のヴィオラとかつ原先生のクラリネットもすごいと思いました。(小2 女子)
- ・ご案内をつとめた方は、すごいと思いました。朗読で、よく言葉がつたわってくるような、ゆっくりで、聞こえやすかったです。(小6 女子)

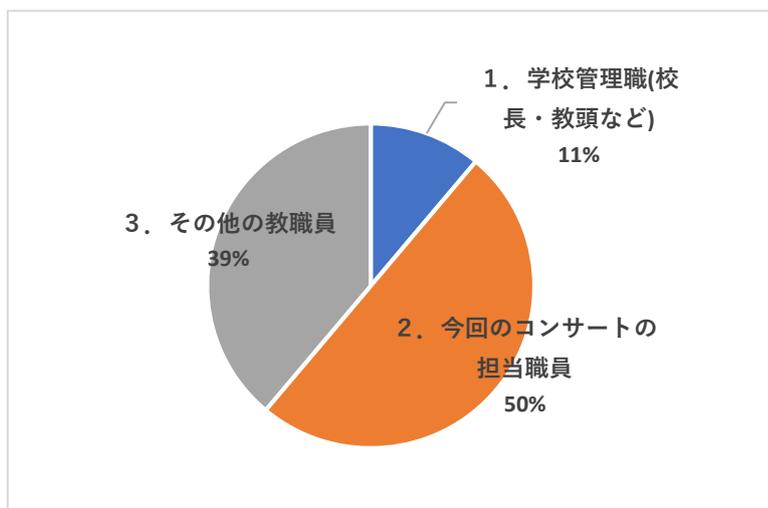
- ・ご案内のひとが、私たちに分かりやすいように細かいところまで教えていただき、どうもありがとうございました。(小5 女子)
- ・心に残ったことは、最初から最後までえんそうにかんどうしたことです。(小4 男子)
- ・みなさんの歌やえんそうをきいていると心が楽しくなりました。(小3 男子)
- ・ぼくは音がくがにがてです。でも、ほほえみコンサートはたのしかったです。(小1 男子)
- ・はく手も音楽の一つという事を教えてもらったり、歌を歌う時に大きく口をあけて、おなかから声を出すといいと言われていたので、やってみるといつもよりいい声が出ました。わたしは、前よりも歌や音楽がもっと好きになれた感じがしました。(小4 女子)
- ・大きな口で、笑顔で、歌が好きという気持ちで歌うことを教えてもらったので、これからもいかしていきたいと思います。(小5 男子)
- ・中1になっても、ほほえみコンサートでこんな歌を歌ったんだとか、こんな人たちがえんそうしてくれたんだなあ、というのを忘れずに中学1年生になりたいです。(小6 男子)
- ・ピアノもバイオリンもうたう人も、みんなじょうずでした。らいねんもきてください。おねがいします。(小2 女子)
- ・来年もきてほしいです。再来年もきてほしいです。そのさきもきてほしいです。(小5 男子)
- ・みなさんのおかげで、今までやってきたことをあきらめずに、このまま続けてがんばりたい気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。(小6 女子)
- ・みなさんが歌ってくれた曲のいいメロディーを海外の人にひろめて、「日本の曲はいいな～」と言って感動してほしいです。(小4 男子)
- ・共生という新しい言葉を教えてもらい、すごく勉強になりました。これから友達とケンカをしてしまったら、歌で心をおちつけてなかよくしたいと思いました。(小5 女子)
- ・ほほえみコンサートの「ほほえみ」という意味が始めはわからなかったけど、音楽で世界をつなげる意味だったので、もっと音楽にきょうみを持ちました。(小6 男子)
- ・音楽を通し、平和を育んでいこうという試みは、これから日本中、世界中に広がってほしいです。「音楽」は世界共通、ということは考えたことがありますが、音楽で平和をつなごう、ということは考えていなかったなので、見習いたいです。(小6 男子)

## 8. 小学校の先生方へのアンケートについて

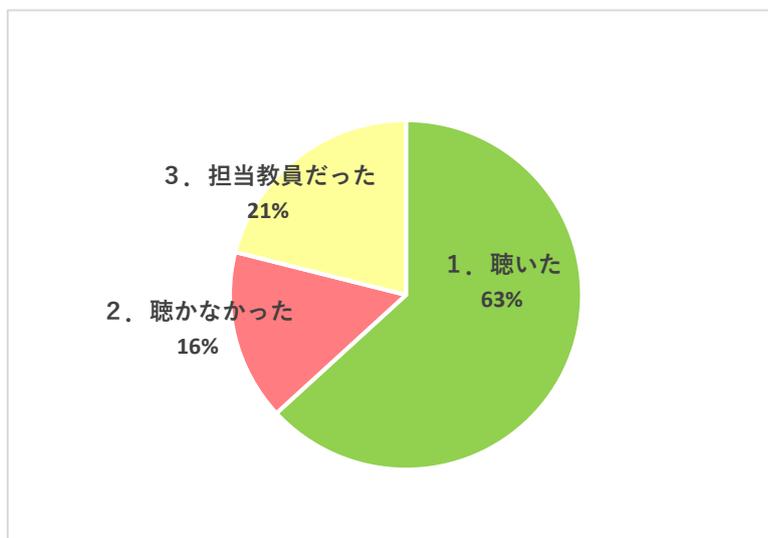
ほほえみコンサートを実施した小学校の先生方へ実施前のアンケートと実施後のアンケートのお願いをしました。

### 1) 実施前アンケートについて（14校中12校（18件）回答、回収率85.7%）

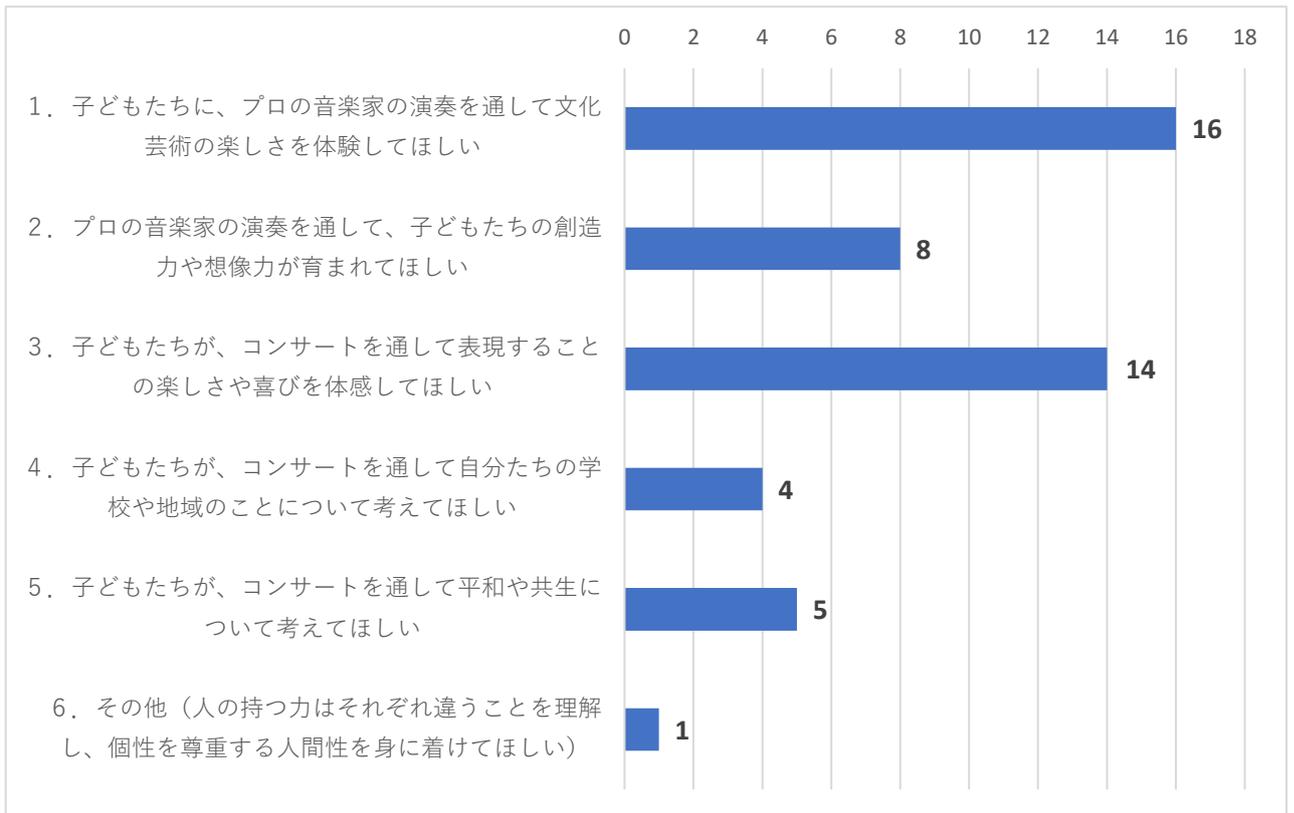
設問1 ご回答者様の学校でのお立場、及び今回のコンサートとの関わりについて、以下から該当するものを選んでください。



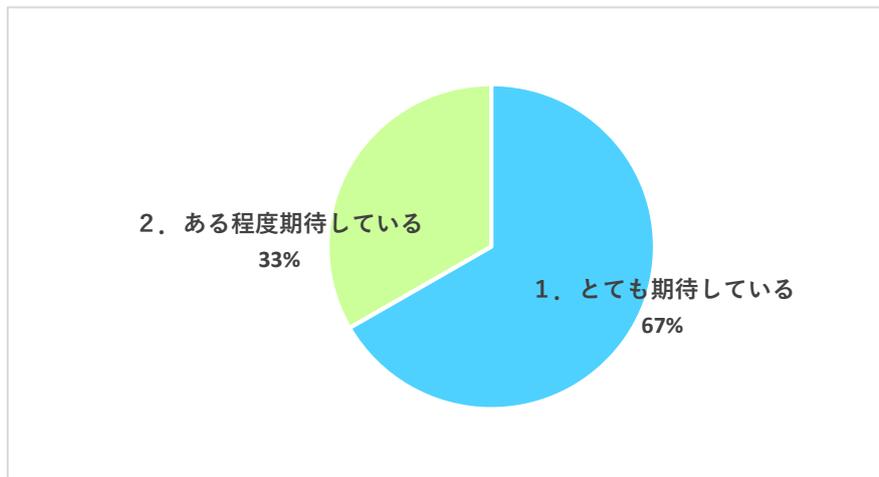
設問2 昨年度の「ほほえみコンサート」は聴かれましたか



設問3 「ほほえみコンサート」にどのような効果を期待していますか（複数回答可）



設問4 前の質問でお答えいただいたことについて、コンサートを通してどのくらいの効果を期待していますか

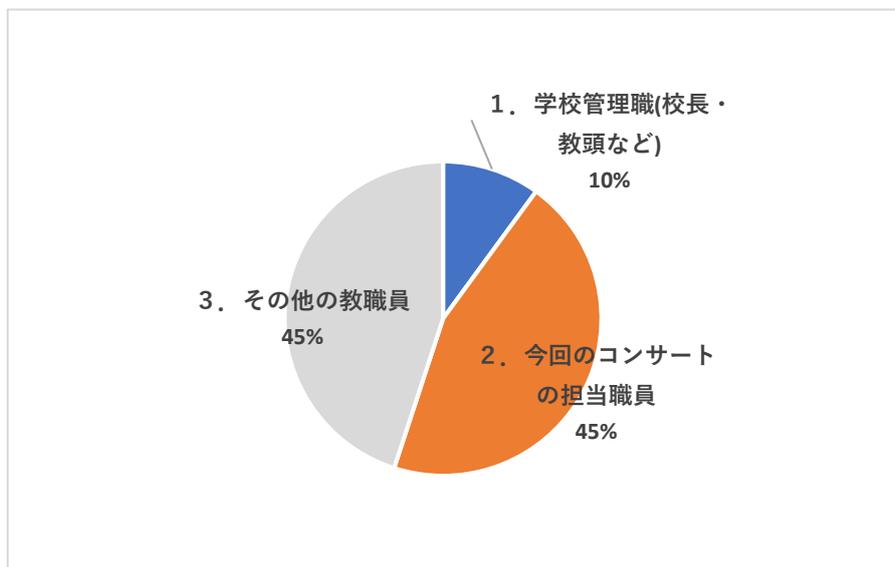


設問5 その他、コンサートの実施に向けて、希望されることなどございましたら、自由にお書きください。

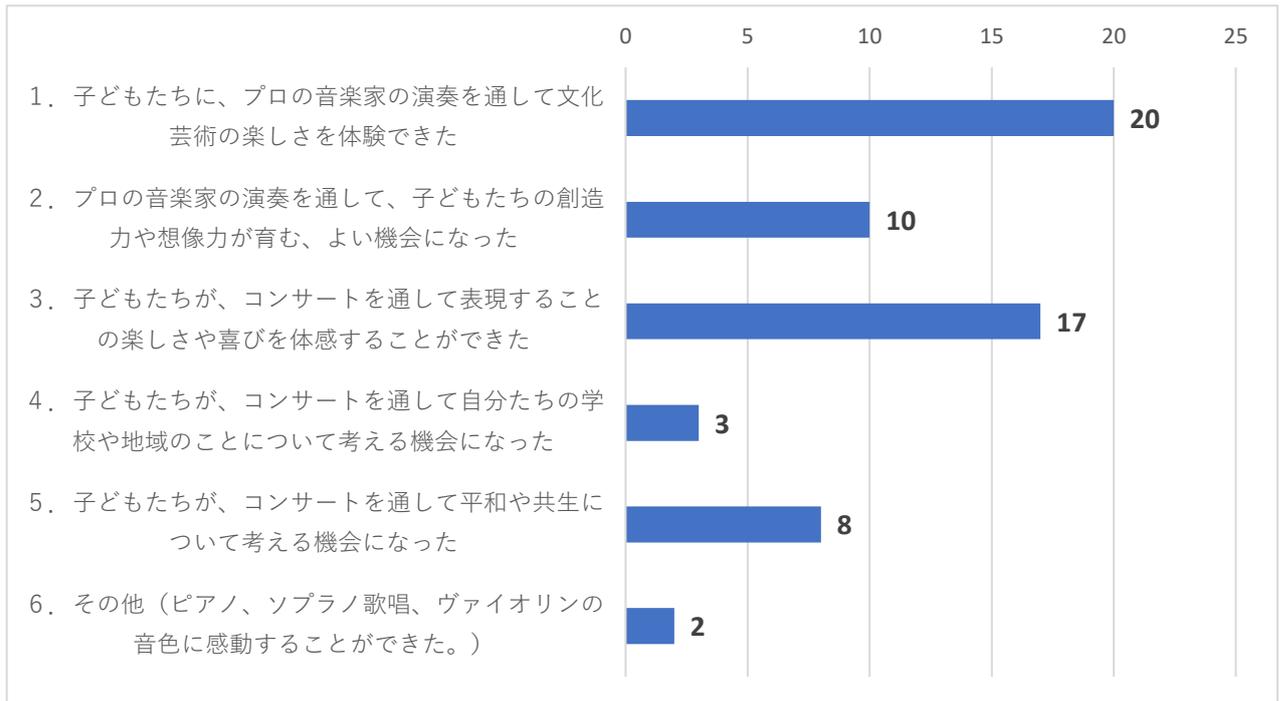
- ・それぞれの楽器の紹介等があるとうれしいです。
- ・昨年度も Sop と Vn と pf だったように記憶していますが管楽器もあるといいなと思います。
- ・音の出る仕組みも教えて頂けると子ども達が興味をもって聴くと思います。
- ・児童にとっては、プロの方と一っしょに表現できる機会はめったにないので、そういった機会を与えていただくことで共に表現する喜びや歌声等で参加できたという達成感や自己有用感をもつことができると思っています。
- ・音楽や歌が平和や共に生きることにつながっているということを低学年にもわかりやすいことばで伝えていただけると助かります。よろしくお願いいたします。
- ・昨年度のように、初めて聴く曲でも親しめるように、曲や作曲者等の解説していただけたらありがたいです。

## 2) 実施後アンケートについて (14 校中 11 校 (20 件) 回答、回収率 78.5%)

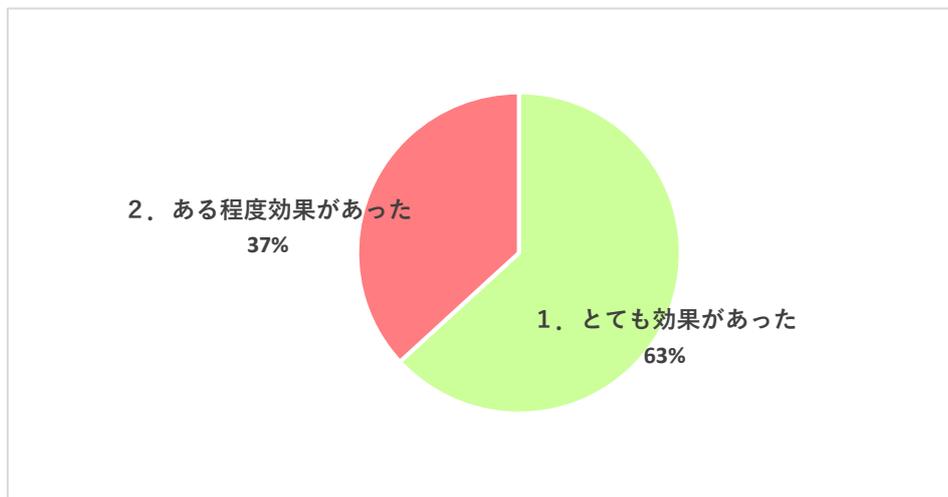
設問1 ご回答者様の学校でのお立場、及び今回のコンサートとの関わりについて、以下から該当するものを選んでください。



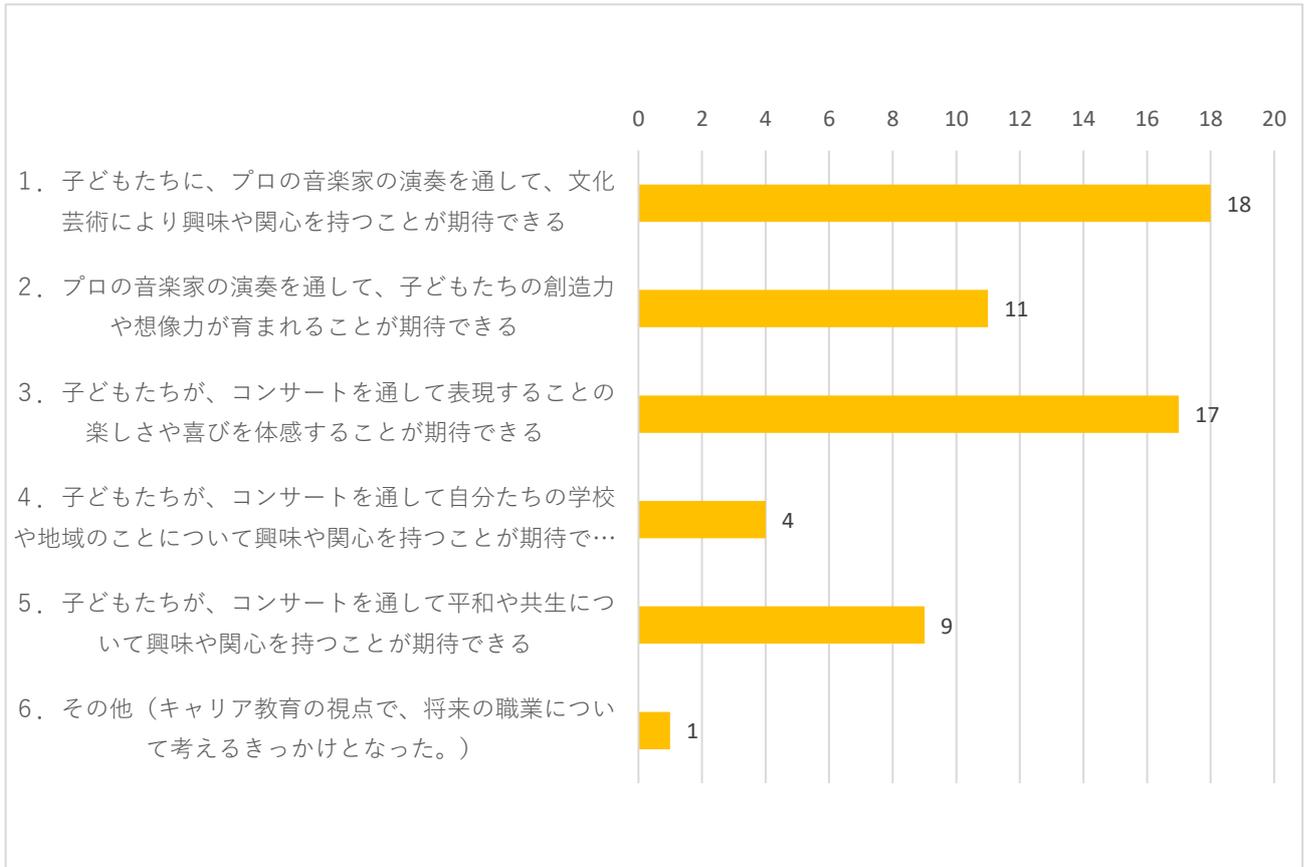
設問2 「ほほえみコンサート」を終えて、どのような効果があったと思いますか（複数回答可）



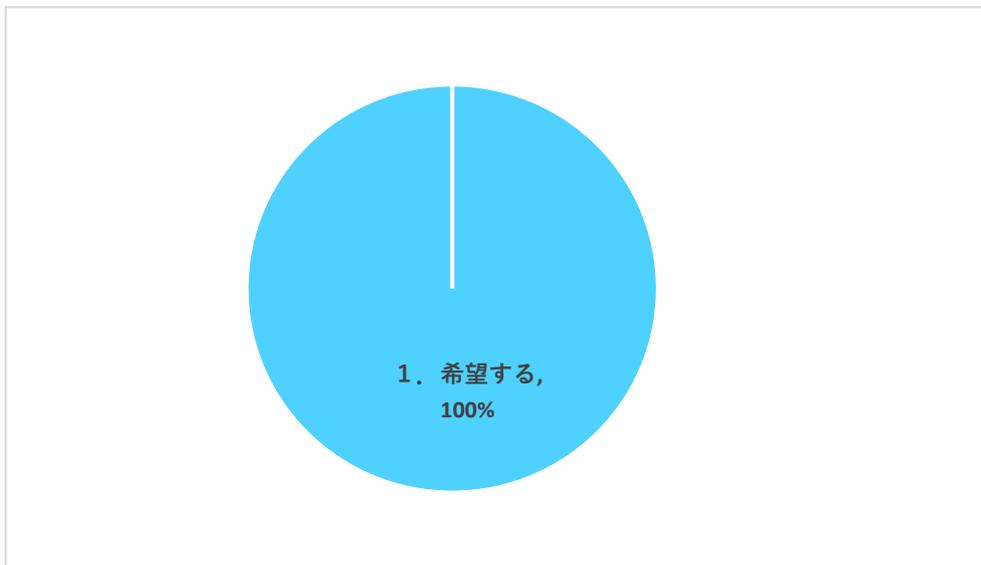
設問3 前の質問でお答えいただいたことについて、コンサートを通してどのくらいの効果があったと思いますか



設問4 今回のようなコンサートを続けて実施することによって、どのような効果が期待できるとお考えですか（複数回答可）



設問5 次年度以降も、「ほほえみコンサート」の実施を希望しますか



設問6 その他、コンサートを聴いた子どもたちに起きた変化や効果、コンサートに対するご意見など、ご自由にお書きください

- ・プロの音楽家の演奏ソプラノの歌声とても心に響きました。子供達も同じように感じ音楽をより好きになったと思います。来年もぜひ「ほほえみコンサート」実施して頂きたいです。
- ・今年度バイオリンの音域等を紹介していただいたのがよかったです。
- ・生の演奏を聴く機会が少ない子ども達にとってよい体験になったと思います。(昨年のごともよく覚えていました)
- ・会場で一生懸命聴いて歌っていました。楽しかったようです。
- ・"小さな世界"のとき「右手」と連呼されましたが低学年は鏡写しでしか動けない児童がたくさんいるのでとまどっていました。
- ・私も楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・プロの音楽家を近くで見る(ドレスの姿)もあまりない。素敵な音色はもちろん演奏するすがたもとても子どもたちにとって、あこがれの形が見ることができたのだと思います。子どもたちが「楽しかった」と喜んでおりました。
- ・楽器、歌唱などに関心をもち、自分もやってみたい、そうやってみたいと意欲をもちました。
- ・1人1人の思いはお礼の手紙で表しました。ありがとうございました。
- ・今日は素敵な演奏をありがとうございました。児童の感想を後日送ります。今後とも宜しく願います。
- ・本物にふれることの重要性を教職員が痛感していました。
- ・教職員がジョイントさせていただいたことは、子どもたちにとってはもちろん、演奏した教職員にとってもとてもよい経験となりました。
- ・参加された保護者の方もとても喜んでおられました。
- ・松本先生をはじめ、関係者の皆様は本当にお忙しいことと思いますが、各校ごとにあのよう丁寧に対応していただき、心より感謝しています。それだけに、教育効果はかなり大きなものであったと痛感しています。本当にありがとうございました。
- ・チェロに興味をもった児童が多かった。普段学校では触れることのない楽器なので、今後もそのような楽器で演奏していただけたらうれしい。
- ・チェロを見て、家で音を出したことがあると思い出した児童や、歌うのが苦手だからコツを教えてもらいたいという感想を口にする児童がいた。
- ・本物の音、歌を聴くことは絶対に必要だと思う。
- ・司会の方の進行がすばらしく、楽しく聴くことができた。

- ・ピアノ曲の選曲は、親しみやすい曲もよいが、児童に「すごい」と思わせるような曲（スピード感や迫力があるような曲等）もよい。
- ・生の演奏を見て聴く貴重な機会をいただき、大変感謝しています。ありがとうございました。来年度も楽しみにしています。
- ・児童が演奏に聴き入っていた様子が印象的でした。校歌はいつもよりも大きい声でのびのびと歌っていました。当日の日記には、「すごきれいだった」、「響いていた」、「また来てほしい」など、多くの児童が感想を書いていました。心に響いたようです。ありがとうございました。
- ・10月30日のほほえみコンサートでは、大変お世話になりました。子どもたちもとても感激しておりました。本校の児童は、生演奏に触れる機会が少なく、今回とても良い機会を与えていただきました。本当にありがとうございました。

### 3) アンケート分析

実施前アンケートの設問3・4と実施後アンケートの設問2・3を比較すると、教員がほほえみコンサートに対して期待していた効果を、ほぼ得られたのではないかとということが窺えます。また実施後アンケートの設問4・5からは、前述の結果をふまえて継続実施を希望する声強いことが読み取れます。

自由記述欄では、「子どもたちにとって良い体験になった」という声が多く寄せられました。特に「生の演奏に触れる機会」という点と「一緒に歌うことができる」点が、高く評価されている印象を受けました。

また、単に「演奏を聴かせる」だけではなく、曲や作曲者の説明を交えながら「音楽を知る」経験が大事だということ、そしてコンセプトである「音楽や歌が、平和や共生、相互理解につながっていく」ことに対する理解についての記述があったことも、「ほほえみコンサート」が他のアウトリーチ形式のコンサートと一線を画していると考えています。

## 9. 新聞記事掲載について

プロの歌と演奏  
小学生200人魅了  
廿日市の宮園小  
廿日市市芸術文化振興事業団などは7日、プロの音楽家を市内の小学校に派遣する演奏会「ほほえみコンサート」を宮園小で開いた。写真。約200人がプロの演奏を楽しんだ。  
ソプラノ歌手の枝松瞳さん、ピアノの占部久美子さん、バイオリンの向田さおりさんが出演。シューベルトの「楽興の時」など世界的な名曲や、日本の唱歌「故郷（ふるさと）」、同小の校歌など計8曲を披露した。  
演奏した3人は、曲目の間に、音楽を始めたいきさつや高音まで出るバイオリンの特徴なども解説した。演奏に聞き入った6年脇谷侑衣さん(12)は「ソプラノの声が体育館全体に響いて驚いた。とても感激した」と話していた。  
訪問演奏会は昨年度にスタート。本年度は9月から今月中旬までに計14校で実施する。

中国新聞朝刊  
2019年11月8日(金)付

## 10. まとめ：今後の事業展開について

「はつかいち ほほえみ(学校訪問)コンサート」も2年目が終わり、事業としてのフォーマットが固まってきました。次年度(2020年度)も、廿日市市内の公立小学校を対象に実施する予定です。

今後は、廿日市市内の公立中学校を対象としたコンサートの実施を視野に入れていきます。その場合、小学校と同じ形式をとるのではなく、年齢に合わせ、はつかいち文化ホールでのコンサートの実施を検討しています。子どもたちの発育段階に合わせ、小学生から中学生へと異なるアプローチをしていくことが重要だと考えています。

